

平成24年度第3回大竹市地域自立支援協議会開催議事録

○開催日時 平成25年3月7日(木) 18時30分～19時50分

○開催場所 市役所 1階会議室

(18時30分開会)

◆次第2. 報告事項

(1) 障害関係連絡会各部会の活動報告について

(委員長) 本日は、皆様におかれましては公私とも大変お忙しいなか、お集まりいただき誠にありがとうございます。それではただいまから平成24年度第3回 大竹市地域自立支援協議会を開催します。着席して失礼します。次第2報告事項に入ります。(1)の障害関係連絡会各部会の活動報告について、事務局からお願いします。

(事務局) それでは、協議会下部組織である障害関係連絡会の現状報告をします。代表者会議を2月12日に開催しました。そこで各部会から報告があったことを中心に報告をいたします。

① 就労部会

- ・23年度に発足し、代表者である広島西障がい者就業・生活支援センターもみじが、廿日市・大竹市を含む広島西圏域を対象としているため、今年度は、圏域の活動を中心に行っています。また、広島西障がい者就業・生活支援センターもみじが、11月から大竹市役所で毎月第二木曜日10時から12時に予約制で就労相談を始めました。11月から2月まで10名の方の利用がありました。

② 作業所部会

- ・市広報12月号の「福祉のとびら」でメンバーのホープアンドドリームの活動紹介記事を掲載。また、前回の自立支援協議会でご理解をいただき、要書書の提出が実現しました。部の代表者が同席しました。
- ・2月26日に部会を開催。部会の方向性として、作業所開設活動に加えて福祉サービスの学習の場としていく話がありました。
- ・ホープアンドドリームが作業所を作るために活動していることを広く市民に知ってもらうために、2月24日(日)旧ステーキハウス KIKI でバザーを開催しました。

③ 発達障害者部会

- ・発達障害の啓発活動として、広島西特別支援学校と共催で講演会を開催。独立行政法人国立病院機構賀茂精神医療センター 児童相談員 元山先生を招きました。アンケートでは良かった、もっと発達障害のことについて聞きたいとの声がありました。今後の講演会については未定だが、繋げていきたいと思っています。
- ・発達障害の子どもたち(受給者証を持たない、診断名がついていない)の学習支援の場がほしいと思い、部会で話し合っています。場所は児童館・公民館等で、発達障害に理解があり対応可能な方を指導者に迎えたいと考えています。

- ・ 4月2日は「世界自閉症啓発デー」です。部会として啓発活動を予定しています。
- ・ 3月11日（月）午後6時～午後8時からサントピア大竹で
大竹市の障害者プランを考える会主催の発達障害講演会があります。講師は
広島市立原小学校（安佐南区）教諭で通級指導教室担当の村主裕子すぐりゆうこさんです。
委員の皆様、ぜひ講演会にお越しください。

④身体障害者部会

- ・ 障害者手帳交付者は、1000人程度。しかし、身体障害者福祉協会の会員は60名程度。会員を増やすため、スポーツ大会を開催する。それによって、各障害者団体と連携やたすけあいの輪を広げる目的がある。昨年は、7月に開催したが、1回目ということもあり、相談・横の連携という効果がなく楽しいだけのものになってしまったという反省を踏まえて、25年度は、5月12日に、総合体育館で2回目を開催します。
各障害者団体をひとつにまとめることについて話をしています。今回のスポーツ大会は部会ではなく、「実行委員会」で実施する障害者団体委員の総意でやっていくので、参加費用の負担をしていただくこととなりますが、みなさんにも参加していただきたいです。

⑤事業所部会

- ・ 障害に関する福祉の知識を増やしていこうと勉強会を11月から開催し、1月は相談員が講師となり精神疾患について学びました。メンバーは障害関係のサービス事業所17か所があつまっています。

（委員長）次第2の（1）の障害関係連絡会各部会の活動報告について、報告がありました。何か質疑がありますか？

スポーツ大会は廿日市と大竹の合同の大会と、大竹独自のスポーツ大会にも出るということですか？

（事務局）そうです。

（委員長）それは市としても補助金などの支援はしていただけるのでしょうか？

（事務局）市として微力ながら支援を行いたいと思っています。

（委員長）質疑がないようですので、次第2の（2）の相談支援事業の相談件数及び事例検討について事務局から説明をお願いします。

（事務局）次第2の（2）の相談支援事業の相談件数等について報告します。
資料の2をご覧ください。平成24年4月～12月分で、相談支援を利用している障害者等の人数は87名で障害者は68名、障害児は19名となっています。支援方法では来所535件電話対応が371件、訪問は94件となっています。支援内容は福祉利用が567件、不安解消114件、健康医療112件となっており、全体としては1,040件です。

続いて、事例検討について説明いたします。資料3です。

最初に、経緯をお話しします。大竹市・社協・みらいの相談員がそれぞれ

れ関わり抱えている、困難事例について委員の皆様にご相談支援の現状と課題を知っていただきたいと思い、相談員で話し合い事例検討をお願いすることになりました。

日々の相談業務に頭をかかえ、煮詰まっている相談員に委員からの活力や応援を頂き、今後の相談業務に活かしていきたいと思っておりますので、ぜひお力を貸して下さい。

事例について説明させていただいた後、2班のグループに分かれて頂き、15分間、委員の皆様が相談員だったら・・・対象者にこんなアドバイスをするよ。といった感じで参加して頂ければと思います。約束は2つ。1つ目は、こんなことを言ったらいけないかもといった固定概念を捨てる。2つ目は、どんな意見が出て否定しない。です。意見の良い悪いや集約等はいりませんので、自由な発想で少しでも多くのアイデアを出して下さい。いろいろな意見をお聞かせ下さい。

準備物として、用紙とマジック・付箋紙を用意しておりますので、各グループで自由に使ってください。使い方は、相談員が進行役を務めますので、一緒に決めてください。

最後に各グループに出された意見の発表をお願いします。

それでは、事務局から事例の内容について説明します。

(～質疑等があれば、事務局より回答～)

～グループディスカッション～

(20分)

タイムキーパー 事務局

それでは、各グループより発表をお願いします。

Aグループ発表

Bグループ発表

(～発表～)

(委員長) ありがとうございます。皆様からいただいたアドバイスを基に今後とも各相談員が連携を取り、互いに助け合いながら相談支援をすすめてください。

それでは次第(3)の平成25年度大竹市地域自立支援協議会によるネットワークの支援システム(案)について、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 平成23年度の途中から24年度にかけてそれぞれの部会が自主活動の中で課題解決ができるように変更したこと、まだ十分とは言えませんが、代表者会議が2回ほど行うことができました。部会・代表者会議・委員会議と連携が取れるように、障害関係連絡会の枠を外しました。

これについてご意見があれば、よろしくおねがいします。

(委員長) これについて、何か質疑がありますか? 運営上の問題がなければよいでしょう。

(委員) 「委員」の中から、市保健介護課と教育委員会が無くなったのはどうしてですか?

(事務局) 来年度、市の部と課の機構改変が予定されているので記載しておりませんでした。申し訳ありません。

(委員) そちらの都合なので、きちんと載せて下さい

(事務局) はい、わかりました。

(委員) 作業所を考える部会と就労部会の活動はどんなイメージでしょうか？

(事務局) 作業所を考える部会は市内で指定事業所がほしいという課題をもって、活動している部会です。今年の1月に市長に新しい作業所について要望書をだしました。今後は、福祉サービスの知識の底上げをする方向性で来年度は活動していくと伺っています。

就労部会は、ハローワーク・広島西障がい者就業・生活支援センターもみじが中心になって、大竹市の障害者を持たれている方への一般就労につなげるために活動しています。

(委員) 新しい作業所のイメージについてはどのように考えておられますか？

就労までは難しい方が通われる居場所的な作業所か、もう少し頑張れば就労までいける作業所、実践的に就労にいける作業所・トレーニングすれば、就労までいける作業所など、就労移行支援・就労継続A・Bなどの新しくできる作業所のイメージを持っているかで、形態が変わってくる。就労方針にも絡んでいると思う。

(委員) それから広島西障がい者就業・生活支援センターもみじとの関連・協力は？この自立支援協議会には、入っていないのですか？

(事務局) 就労部会の中にもみじが入っています。もみじの担当区域は廿日市・大竹市ですが、廿日市に出向いて相談を受けるためには外出が難しい人がいるため、11月から大竹市の庁舎内で月に1回、出張で就労相談をうけてもらうようになりました。

(委員長) 就労部会の中にハローワークともみじが代表者としてはいつているのですか？

(委員) もみじという文言が、ネットワーク図にはないのですね。

(事務局) この表では名前としては出していません。

(委員) 黄色の枠の中には、はいつていないのですか？

(事務局) 委員ではないので外しています。

(委員) もみじも働く場の開拓をしているのでしょうか？お世話になることもあるのでしょうか？関連団体にいれることはできないのですか？

(事務局) 就労部会の部会長としてもみじが入っています。今後ネットワークの中でもみじが外にできるよう考えていきたいと思えます。

(委員) 西部地区が担当となっているので、協力してもらえればありがたいですね。

(委員) 具体的にもみじが動ける職員体制は？

(事務局) 現在5人体制で、実働は今3人となっています。非常に厳しい状態です。

(委員) 広島県の支援学校が平成17年に就労について調査したところ9.8%

で、全国で47位だったそうです。それから、すぐ頑張られて、4年くらいの間で、25%となり全国平均をちょっと上回ったと聞きました。外回りをする人がおられ、一つの支援学校単位で企業に年間500から600件回って、就労について開拓され、仕事を確保していると聞きました。この就労部会はそのような活動をしているのですか？

(事務局) 今、部会は企業の就労に向けて開拓など活動には至っていませんが、広島西特別支援学校にも加わっていただき、学校との連携は十分に取れる体制にはなっています。卒業生を支援しやすい体制がすこしずつできています。

(委員) 卒業生などの早期に対応が必要な方が可能ということですね。

(事務局) 企業側に回って仕事がないと言われても、現場を見させていただいて、もみじから業務内容によっては、障害者の方ができることを提案されることを伺っています。企業側にも工夫をして頂ければ仕事ができる人材がいることを提案してもらっています。

(委員) 企業側にどんなことができる人材であったら、雇ってもらえるかを聞いて回って、具体的にそれができるように支援をしていったと聞いています。

(事務局) そちらの支援ももみじではしておられます。

(委員) 大竹市の障害者の方で働きたいとおもっている人の開拓はどこがしているのですか？

(事務局) もみじとハローワークで連携して頂き、市では特に開拓は特にしていませんのですが、就労相談については、もみじが大竹市で出張相談を行っています。また、大竹市からもみじへ直接相談に行っている人の対応もして頂いています。個人の方の特性に応じて、一般就労できそうな方はハローワークに繋げてもらっています。

(委員) 大竹市の障害者の方はもみじを頼っていくのですか？

(事務局) もみじを利用したり、一般就労したいということでハローワークを利用したり様々です。市に相談に来られた場合は、相談業務の中で、その人に何ができるかどこに繋がればよいか、相談の中で見つけていき、就労に繋がる方であれば、もみじ、ハローワークに繋げることになると思います。

逆にまだ、就労が難しい方は、相談員に電話が入って一緒に作業所を探しなど、今、その人ができることを重点に置いて連携をとっています。

(委員) 市内作業所は満杯でしょうか、一般企業の開拓についてはどうでしょうか？

(事務局) みらいの中でも就労相談はしています。就労グループというものを作り、現在就労されている方と一般就労をめざしている方の集まりがあり、就労の相談を受けています。100名の方が利用しています。先日もあるスーパーに雇用の同行し支援をしています。施設内でも単独で就労支援しています。

(委員) 栄町に9月1日にスーパーイズミが1800㎡できると聞いているが、

企業として、社会的責任において障害者を何人か、受け入れてもらえるように、働きかけしているのですか？

(事務局) 昨年、小方の店長さんに会いに行ったが、シュレッダーをかける仕事があると聞きました。しかし現在、障害者の方の採用予定はないと話がありました。

(委員長) 企業としても障害者を受け入れる義務がありますからね。

(事務局) 市の方はハローワークと連携して、たくさんではないですが、昨年の秋ぐらいにハローワークが企業訪問しています。その時に市長名とハローワークの所長名で文章を作って、障害者の就労についてお願いに行っています。法定雇用率もあるので、市内の企業の何社かを一緒に訪問しています。

(委員) 根気よく企業訪問は1回目で断れても繰り返し訪問してください。

(事務局) はい、わかりました。

(事務局) 4月から法定雇用率が変わり、56人に1人から50人に1人の障害者雇用となります。大竹市の場合は定員より低いとい現状があるので、引き続きハローワークと協力して開拓していきたいと思えます。相談にこられる方は必ずしも一般就労を希望されている方だけではなく、訓練を行ってから一般就労につなげたい人もいます。また、就労ではなく日中の居場所を求めている人もいます。福祉サービスにかか

(委員長) 個別ケース対応を通じた課題に応じて、随時ネットワークを活用し連携・調整を図ってください。時間も押し迫っているので、ご意見がなければ、次第4.「その他・情報交換」に入りたいと思えます。各委員からご意見や情報提供等がありましたら、ご発言をお願いします。

特にないようでしたら、最後に事務局からその他連絡事項について説明をお願いします。

(事務局) 次期開催予定は いつごろがいいですか？

(委員長) 事務局に任せます。

(事務局) わかりました。続いて、講演会・研修会についてお願いします。

(委員) いきいき介護教室の講演会を3月27日(水)サントピア大竹で14時から開催します。講師は広島県西部認知症疾患医療センター長井門ゆかり先生で「認知症の予防と新しい治療薬」についてのテーマでご講演を頂きますので、ご参加ください。よろしくをお願いします。

(事務局) 第9回地域活動支援センターみらい精神保健福祉ボランティア研修会を3月28日(木)サントピア大竹で1時半から開催いたします。講師はNPO法人「自殺防止ネットワーク 風」でご活動されている広島市中区の超覚寺住職 和田 隆恩先生から、「命の大切さ、生きる目的について」についての演題でご講演を頂きます。お時間がありましたら、ぜひ講演会にお越しください。

(委員長) 他にございませんか？

(委員) アイビー家族会存続しているが、高齢化が進みメンバーは85歳前後で3~4人の女性ばかりで、若い人が入ってこないで、早晚崩壊

や消滅すると危惧している。

仮に若い方が入ってこられても、年齢の差などで話があわない現状がある。このようなアイビー家族会のことを皆さんに知っていただきたいと思います。

(委員長) アイビー作業所の仕事は入っている状態。仲間と一緒に作業をし、食事を食べて共に時間を過ごせば元気がでるとおもいます。

(委員) 悩んでいる方や当事者から相談がくるようにならないといけないと思う。医師会などをお願いすることはできないでしょうか？

(委員) 精神障害の人は障害がどこにあるのかは、一見わからない。当事者家族にも精神障害について、世間に知られたくない気持ちがあるようで、もどかしさを感じている。今はそのような時代ではない。みなさんに家族会のことを周知して頂き、理解して頂きたいと思っています。

(委員) 語り合う場があることを知ってもらうことが大切と思う。親・兄弟は現状を把握しておられるし、心配をされていると思う。

(委員) 市広報にアイビー作業所家族会のことを掲載してもらったらいかがでしょうか？

(事務局) 市広報の中の「福祉の扉」で紹介できます。

(委員) アイビー作業所の利用者は…

(委員) 10人位です。NPO法人を立ち上げることも考えたがなし得なかったため、また通所している人に迷惑を掛けられないので、社会福祉法人の傘下に入った。

(委員長) いろいろ波風はあると思いますが、元気を出してがんばりましょう。特に意見などがなければ、以上をもちまして平成24年度 第3回大竹市地域自立支援協議会を終了します。皆様、ご協力ありがとうございました。

閉会 19時50分